

次期の業績見通し / 中長期的経営戦略

PROSPECT OF THE NEXT TERM / MEDIUM-TERM MANAGEMENT STRATEGY

1

次期の業績見通し

当グループは、自社の持つ小型・軽量・薄型・省電力といったコア技術を活用し、引き続き戦略事業の強化を推進します。デジタルカメラは高精細の写真撮影と、高品位・長時間の動画撮影を両立させたハイクオリティムービーモデルにより、国内はもとより今後成長が見込まれる海外市場での拡大も強力に推進します。

電波ソーラー時計では「OCEANUS (オシアナス)」「LILANA (リラーナ)」ブランドの強化により、男性・女性向けのラインアップを拡充します。これにより、アナログ市場におけるシェア拡大を図り、時計事業における電波・ソーラー製品の比率を向上させ、さらなる収益力の向上を図ります。

電子辞書では国内学生市場を中心に需要が堅調に推移していくと予想され、さらに韓国、ドイツ、スペイン語圏を始めとした海外市場のシェアを向上させ、世界の教育市場におけるトップブランドを目指します。

携帯電話では本格化する第三代携帯電話へのシフトの中、開発合弁会社の強みを活かし、今後の技術革新に対応した競争力ある商品を開発してまいります。また共通プラットフォームの構築などにより、開発におけるコストとスピードの改善による収益力の向上を目指します。

TFT液晶では圧倒的シェアを確保しているデジタルカメラのモニター向けに加え、携帯電話向け比率を拡大させ引き続き生産性の向上に努めます。

2005年度の業績見通し(連結)

売上高	5,800億円 (前期比 +3.8%)
営業利益	430億円 (前期比 +10.1%)
経常利益	370億円 (前期比 +10.2%)
当期純利益	230億円 (前期比 +6.8%)

2

中長期的経営戦略

1. 収益力の向上

時計事業、コンシューマ事業(デジタルカメラを除く)、情報機器事業といった既に市場においてトップシェアを確保し、今後大きな追加投資を必要とせず、安定的なキャッシュ・フローの獲得が見込まれる事業を「基盤事業」、デジタルカメラ事業、通信事業(携帯電話)、デバイス事業(TFT液晶)といった、マーケットが今後世界的に拡大していくことが見込まれる反面、参入企業数も多く競争が激化している事業を「発展事業」として位置付け、「基盤事業」で安定的利益を確保しながら「発展事業」の営業利益を拡大させ、全社の営業利益率10%を目標としてまいります。

2. 財務体質の強化

成長を支える財務基盤の強化に向けて、前期より株主資本比率及びD/Eレシオの改善を強力に推進しております。現在までの進捗状況としては、株主資本比率が32.7%、D/Eレシオが0.95倍と、前々期の28.7%、1.34倍から大きく改善いたしました。今後も引き続き効率的キャッシュ・フロー経営のより一層の徹底を図り、フリー・キャッシュ・フローの創造に努め、安定的かつ強靱な財務体質への転換を図ってまいります。

3. コーポレート・ガバナンスについて

経営目標を確実に達成し競争力を強化し企業価値を高めていくためには、迅速な意思決定や適切な業務執行とともに、経営の透明性を向上する経営監視機能の強化が極めて重要と認識しており、コーポレート・ガバナンスの充実に向けたさまざまな取り組みを実施しております。(15~16Pの「CSRへの取り組み」をご覧ください。)

株主の皆様におかれましては、なにとぞ当グループの経営方針にご理解をいただき、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。